

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第73号

2012年10月22日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ワトパン

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



もうつぐらないで核燃料! / 土建まつり盛況!

毎週月曜日3時から、久里浜にあるグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン (GNF-J) でアピール行動が行われています。10/8は祭日だったため、遠方からの参加者を含め、20人以上が集まりました。バス通りのバス停近くで、自己紹介を済ませたあと、プラカードやうちわを持って、工場の周りを1周し、20年近く放射能の活動をしている菅沼みどりさん(放射能から子どもたちと未来を守る会会長=よろずピースバンドボーカル/下の写真左)から、説明を受けました。



9/30、うみかぜ公園で土建まつりが開かれ、秋の拡大月間スタートの決起の場となりました。横三労連からも、松本議長をはじめ3人が来賓として参加、土建の組合員の皆さんと交流を深めました。

土建まつりには、毎年中学校のプラスバンド部が参加して、見事な演奏を楽しませてくれます。市民との交流の場ともなっています

市長つくる会が、政策発表会!

横須賀市民の市長をつくる会は、10/15、文化会館で政策発表会を行い、38名が参加しました。松本静児横三労連議長の開会挨拶のあと、NPOかながわ総研専務の梶田さんの講義、井坂市議の市政報告、小林事務局長から政策と運動の提案を受けたあと、新婦人から子育て分野で、土建から中小業者の立場から、横須賀市政を告発する発言がありました。

梶田さんは、神奈川臨調を批判し、「政治にうとい黒岩知事が、予算を自由に使えない事に気づき、経常的な支出を削るために始めた」と喝破。また井坂市議は、吉田市政のつまづきは、副市長人事の失敗からはじまったと指摘しました。

気になる候補者ですが、まだ目途が立たない状況です。ただ、つくる会では、独自候補擁立に向けた論議が始まっています。

住民投票条例のパブコメ、今月いっぱいです!

住民投票条例案の骨子がまとまり、ニュースが町内会ごとに回覧されています。検討委員会の討議結果を参考にしたと書いてありますが、内容は見事に骨抜きにされてしまいました。

たとえば、「市が権限を持たない事項」について、「自治体が意見を表明する場合」であっても対象としない、と、基地に関わる問題は、最初から門前払いの扱いです。また、住民の署名要件について「投票資格者総数の「4分の1以上」つまり9万以上が必要です。皆の反対意見をパブコメに集中しましょう。